

令和4年1月14日

資料提供

「国道42号 田辺西バイパス」の全線開通及び
「国道42号 冷水拡幅」の部分開通にかかる知事コメント

本日、国土交通省から、「国道42号 田辺西バイパス」が3月20日（日）に全線開通、「国道42号 冷水拡幅」が3月4日（金）に部分開通するとの発表がありました。

これまで工事を進めていただいた国土交通省の皆様をはじめ、早期の完成に向けご尽力をいただいた県選出国會議員、県議會議員、関係市町村長及び地域住民の方々に心から感謝を申し上げます。

本県では、これまで県内の幹線道路網の整備に取り組んできたところであり、今回の発表は大変喜ばしい限りです。

特に、田辺西バイパスは、今回全線開通することにより、これまで以上に田辺市内や周辺地域における渋滞緩和や交通事故削減、大規模災害時の交通機能確保など、県民生活の質の向上や地域経済への発展に大いに期待されます。

県としては、県土の強靱化やポストコロナにおける地域経済の再生・発展のため、冷水拡幅の残る区間や有田海南道路をはじめ、県内の道路整備の更なる加速化が図られるよう、事業推進に引き続き取り組むとともに、国をはじめ関係機関に強く働きかけてまいります。

お問い合わせ先

県土整備部 道路政策課

こだま かどもと

児玉、角本

073-441-3116



令和4年1月14日 14時00分
資料配布 近畿地方整備局
紀南河川国道事務所

国道42号 たなべにし 田辺西バイパスが3月20日に全線開通します

【今回開通区間：たなべ 田辺市は やちようせいじろ 芳養町おおや 清地路～同町大屋】

～交通混雑の緩和、地域住民の利便性向上等に寄与～

国道42号たなべにし 田辺西バイパス(延長3.8km)のうちたなべ 田辺市は やちようせいじろ 芳養町おおや 清地路～同町大屋間の延長1.6kmが、令和4年3月20日(日)15時に2車線で開通します。
この区間の開通により、田辺西バイパスは全線開通することになります。

○開通区間 : 国道42号たなべにし 田辺西バイパス 延長1.6km
たなべ 田辺市は やちようせいじろ 芳養町おおや 清地路～同町大屋

○今回の開通による主な整備効果

- ①交通混雑の緩和
- ②地域住民の利便性向上
- ③交通安全の確保
- ④災害時の交通確保

○開通を記念した催しについては、後日お知らせいたします。

<取扱い> _____

<配布場所> 近畿建設記者クラブ
和歌山県政記者クラブ
和歌山県政放送記者クラブ
和歌山県地方新聞記者クラブ

大手前記者クラブ
田辺記者クラブ

<問合せ先> 国土交通省 近畿地方整備局 紀南河川国道事務所

副 所 長 ほんだ あきら 本 田 明
工務第二課長 すえなが たかし 末 永 卓

TEL 0739-22-4564(代表)

事業の概要

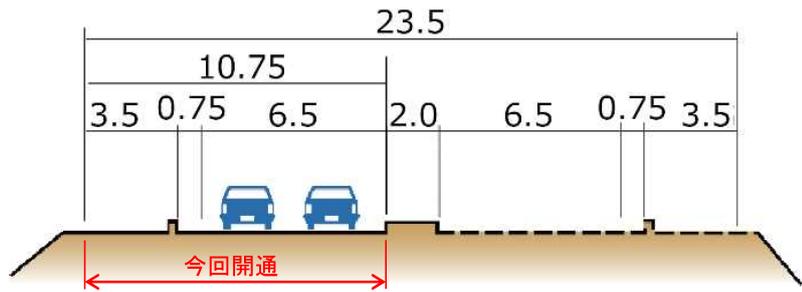
田辺西バイパスは、近畿自動車道紀勢線南紀田辺ICへのアクセス道路としての役割を担うとともに、紀伊半島沿岸部をつなぐ唯一の主要幹線道路である国道42号の交通混雑の緩和、地域住民の利便性向上、交通安全の確保、災害時の交通確保を目的とする道路です。

○開通概要

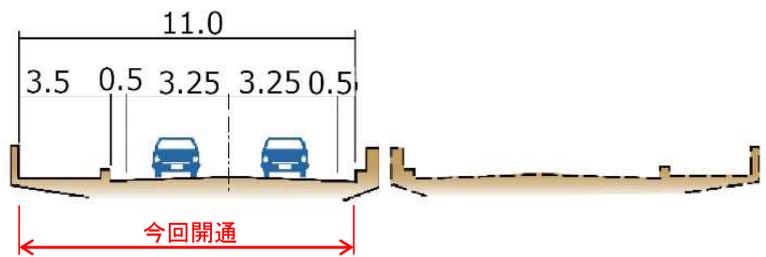
区 間	(起) 和歌山県田辺市芳養町清地路 (終) 和歌山県田辺市芳養町大屋
道路延長	1.6km
構造規格	第3種第2級
設計速度	60km/h
車線数	暫定2車線
標準幅員	23.5m

○標準断面図（今回開通区間）

【一般部（土工部）】

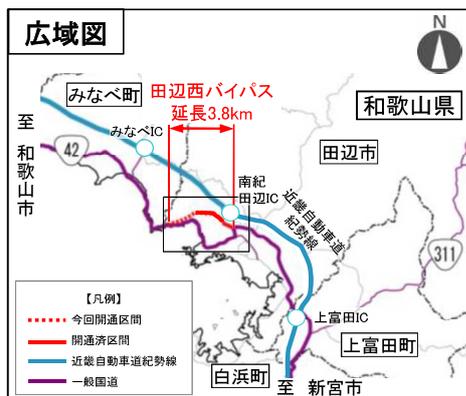


【橋梁部】



○主な事業の経緯

年 度	事業実施項目
平成9年度	事業化
平成13年度	用地着手
平成13年度	工事着手
平成19年度	IC区間（0.6km）完成4車線供用 （田辺市稲成町稲成）
平成25年度	一部区間（1.6km）暫定2車線供用 （田辺市稲成町稲成～芳養町清地路）



令和4年1月14日14時00分
資料配布 近畿地方整備局
和歌山河川国道事務所

国道42号 ^{しみず}冷水^{しみず}拡幅の一部区間が3月4日に開通します
～^{かいなん}海南市^{しみず}冷水^{ふじしろ}から^{ふじしろ}藤白間の0.7km区間が2車線から4車線になります～

2車線から4車線への拡幅工事を進めております国道42号^{しみず}冷水^{しみず}拡幅（延長1.1km）
において、^{かいなん}海南市^{しみず}冷水^{ふじしろ}～^{ふじしろ}藤白間の延長0.7kmが、令和4年3月4日（金）10時頃に
部分開通することとなりましたのでお知らせします。

○主な整備効果

①4車線化による交通の円滑化

- ・海南ICから国道42号有田市方面への合流部では、朝夕ピーク時に交通混雑が発生
- ・今回の4車線化により円滑な合流が可能になる等、交通混雑の緩和に期待

②4車線化による安全性の向上

- ・海南ICと国道42号の分合流部では、交通混雑や車線変更等により誘発される追突事故が発生
- ・今回の4車線化により円滑な分合流が可能になる等、交通事故の減少に期待

○開通を記念した催しについては、後日お知らせいたします。

<取 扱 い>

<配 布 場 所>

近畿建設記者クラブ
和歌山県政記者クラブ
和歌山県地方新聞記者クラブ

大手前記者クラブ
和歌山県政放送記者クラブ

<問 合 せ 先>

国土交通省 近畿地方整備局 和歌山河川国道事務所

副所長 ^{かわしま たかひろ}川島 隆宏 (内線 206)

計画課長 ^{なかむら よしまさ}中村 佳正 (内線 261)

TEL 073-424-2471 (代表)

事業の概要

国道42号冷水拡幅は、有田海南道路と接続する海南市冷水から海南市藤白までの延長1.1kmの現道拡幅事業です。

当該事業は、国道42号現道の「交通混雑の緩和」「交通事故の減少」を図るとともに、「有田および海南地域生活圏の連携強化、地域の活性化」を目的とする道路です。

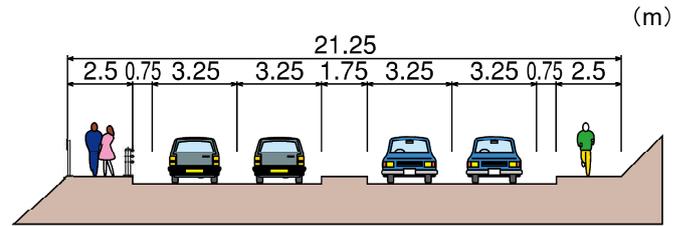
今回、海南市冷水から藤白間の延長0.7kmが4車線で開通することになります。

○事業経緯

	冷水拡幅
区間	(起) 和歌山県海南市冷水 (至) 和歌山県海南市藤白
道路延長	1.1km
構造規格	第3種第2級
設計速度	60km/h
車線数	4車線
標準幅員	21.25m
事業化	平成19年度
用地着手	平成21年度
工事着手	平成23年度

○開通区間の標準断面図

【冷水拡幅】



※国土地理院HP 地理院地図(電子国土Web)より抜粋引用

【位置図】

